

地元の福祉・介護を担うプロフェッショナルを目指して
―第1回関東地区高校生介護技術コンテスト開催―

去る8月26日、高校で福祉を学ぶ生徒が介護技術を競い、高め合いながら交流を深めることなどを目的に「第1回関東地区高校生介護技術コンテスト」(以下、コンテスト)が開催されました。

コンテストには、全国福祉高等学校長会に加盟する関東地区の4県6校が各県の代表として集結。本県からは、県のコンテストを勝ち抜いた県立津久井高等学校と市立川崎高等学校が出場しました。

競技の結果、川崎高等学校は優秀賞、津久井高等学校は優良賞を受賞。全国大会への出場権は逃しましたが、初めて顔を合わせた関東地区の仲間たちと交流を深め、互いの技術を高め合う貴重な機会となりました。



コンテストでは「第16回かながわ高齢者福祉研究大会」の介護技術発表で優秀賞に選ばれた特別養護老人ホーム陽だまりの職員による実演も行われた



閉会式終了後の主催関係者や出場した生徒(写真提供:関東地区高校生介護技術コンテスト実行委員会)

昨年度までは、全国大会出場校は書類選考により決定されていた。津久井高等学校の呼び掛けにより、本県と関東地区の各県で実技による選考を初めて実現しました。開催を呼び掛けた同校教諭・福祉科学科長の林睦さんは「生徒同士が学び合い、交流できる場を作りたかった。同世代の仲間の前で発表したことで、生徒は自信が戻ったのでは」とコンテストを振り返ります。

当日は、施設に入所する右上下肢麻痺、軽度の認知症のある女性への介護を課題に、7分間の競技と2分間のアピール(説明)で介護技術が競われました。出場した同校福祉科2年生の難波結花さんと伊藤千冬さん、田中公樹さんは

「自立支援」を重視。多くの発表が、自分でできる動作は自分で行うことを促す声掛けをする中で、3人はほとんどの動作を介護。原則に留意しつつ「その範囲も含めて手伝うことで、楽しみにしていたお孫さんたちとの面会に体力を温存してほしい」と考え、他の発表にはない切り口で、3人が自立を多角的に分析したことを解説してくれました。

県立の高校で唯一、介護福祉士国家試験受験資格が取得できる津久井高等学校。その中で学ぶ3人は、資格を取得し、地元の福祉現場で働きたいと将来の目標を語ってくれました。林さんはそんな生徒たちを、実習などを重ねながら専門職としての成長はもちろん、人間としての豊かさも深めていると温かく見守ります。

「それを同じスタートラインから経験できることが高校から福祉・介護を学ぶ魅力の一つ。そのため環境や機会を引き続き提供していきたい」とコンテストの継続にも意欲を見せる林さん。コンテストの経験を糧に、かながわの福祉・介護の将来を担う若者のさらなる成長が期待されます。

(企画調整・情報提供担当)

借金・離婚・相続・労働問題・犯罪被害...

こんなとき、まずは法テラスへ

よかった、法テラスに電話して。

日本司法支援センター

法テラス

法的トラブルは、適切な機関や専門家に相談するのが解決への近道。まずはお気軽に法テラスへお電話ください。内容に応じて、ご利用いただける法制度や相談窓口をご案内します。

法テラス・サポートダイヤル

0570-078374

夜間・土曜日・どうぞ

（平日9:00～21:00）
（土曜日9:00～17:00）
※通話料のみでご利用いただけます。

犯罪被害者支援ダイヤル **0570-079714**

法テラス神奈川

☎050-3383-5360

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル10階

法テラス川崎

☎050-3383-5366

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-1 ハジフィックマークス川崎ビル10階

法テラス小田原

☎050-3383-5370

〒250-0012 小田原市本町1-4-7 朝日生命小田原ビル5階

受付時間【共通】 平日9:00～17:00

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています